世界で革新的なアイデアを創出するプラットフォーム

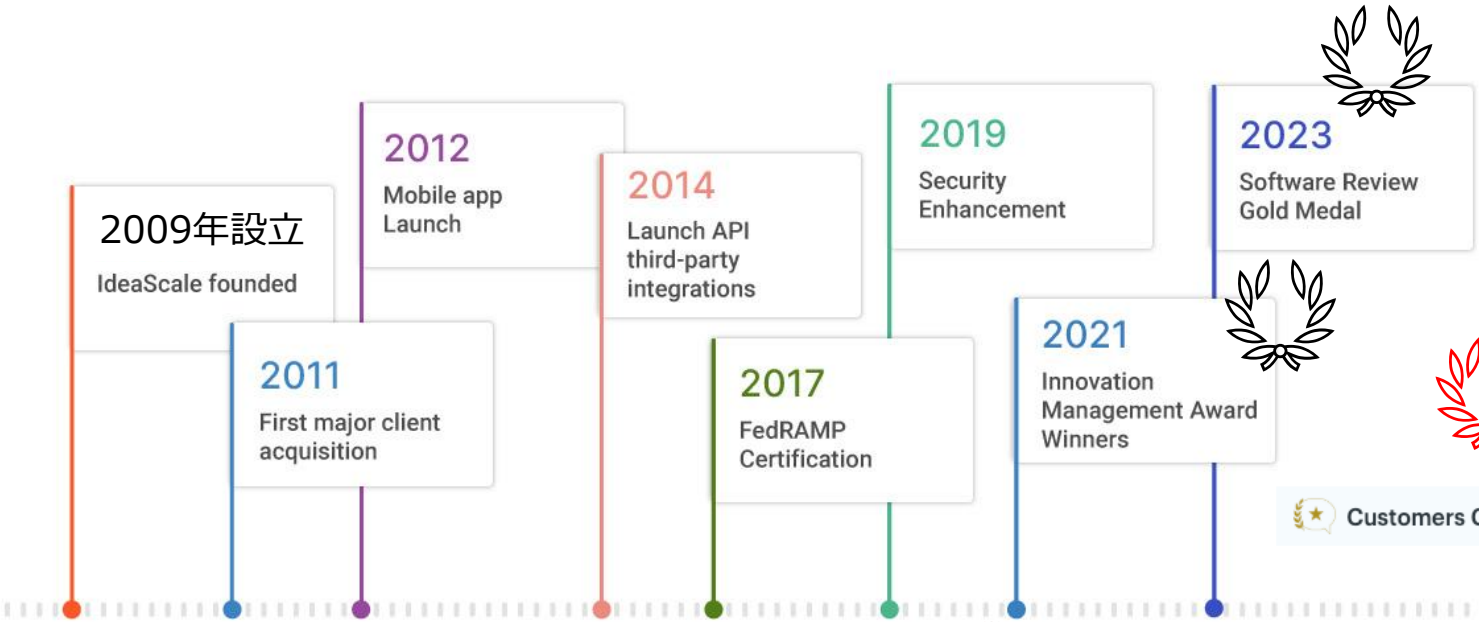
IDEASCALE

IDEASCALE

IdeaScale社について

IdeaScale社について

イノベーション管理ツール「IdeaScale」



オバマ米国大統領のイノベーション政策によって誕生

IdeaScaleは、Gartner Peer Insightsにおいて、Customer Choice Awards 2024を受賞しました。

- カリフォルニア
- ワシントンDC
- バングラディシュ
- カナダ
- ドイツ
- シンガポール
- 日本

IDEASCALE

IdeaScaleについて

アイデアスケールは、多くの顧客で革新的なアイデアを創出しています

IdeaScale社について

イノベーション管理ツール「IdeaScale」

IDEASCALE

IDEASCALEについて

IDEASCALEが選ばれる理由

AIソリューション

コラボレーション

活用例・事例

サポート

IDEASCALE

アイデアからプラン作成と意思決定をプロセス化
- 個人能力を組織機能へ転換

個人能力を組織機能へ

アイデアを出しやすく

素早く意思決定

分析レポート

周辺システムとの連携

	人物像	アイディア獲得	チームづくり	プランニング	レビュー	意思決定
アイディア投稿者 閲覧者	一般社員、 もしくは パートナー	アイディア投稿 ↓ 意見を元に アイディアを改善 意見、投票 ↓ 元アイディアに フィードバック	プランニングのためのチームを作る	フレームワークを適用し、 アイディアをプランへと変換		
レビュワー	役員、 コンサルなど				プランをレビュー	
意思決定者	組織の 意思決定者					プランを 決定、実行 予算割り当て

国際標準規格：ISO5600X（イノベーション・マネジメントシステム）に記載されるプロセスを、そのまま具現化することが可能です。

これまで属人化され、個人任せになっていた「新規事業やビジネスプラン」「既存業務のカイゼン提案」などの個人能力が組織機能として定着します。

IDEASCALE

個人能力を組織機能へ
アイデアを出しやすく
素早く意思決定
分析レポート
周辺システムとの連携

アイデアを出しやすくする仕組み

IdeaScaleは、組織内外のメンバーからのアイデアや意見を出しやすくするための数々の機能が採用されています。

イノベーション活動の認知促進するランディングページ

具体的なテーマ・課題を明確にするキャンペーン

テーマや課題、範囲を曖昧にすると目的や価値まで曖昧になる場合があります。

イノベーション方法論では、アイデアを収集する場合はテーマを明確にすると健全なディスカッションが行われ、多くのアイデアが収集できるとされます。

アイデアの説明文を生成する生成AI

良い文章表現ができない、伝わる文章になっているか不安など文章による説明が苦手なユーザーには生成AIが文章生成を行います。

文脈で個人が特定されるのが不安、わかりにくい文章だと指摘されるのが不安という場合、生成AIに文章を作成してもらいましょう。

活発なコミュニケーションを推進

- 言語翻訳機能
- 禁止用語定義（コンプライアンス）
- 匿名投稿
- GDPRへの許諾
- アイデアなど知財に関する権利許諾

IDEASCALE

アイデアを具体的なビジネスプランに変換

IdeaScaleは、知的創造プロセスをワークフロー化する機能が提供されています。

簡単にアイデアを登録できるIdeaScale（アイデアスケール）はアイデア収集を活発にします。収集したアイデアをみんなで投票して選定されたアイデアにはチーム編成して具体的に検討しましょう。

標準提供されるテンプレート、

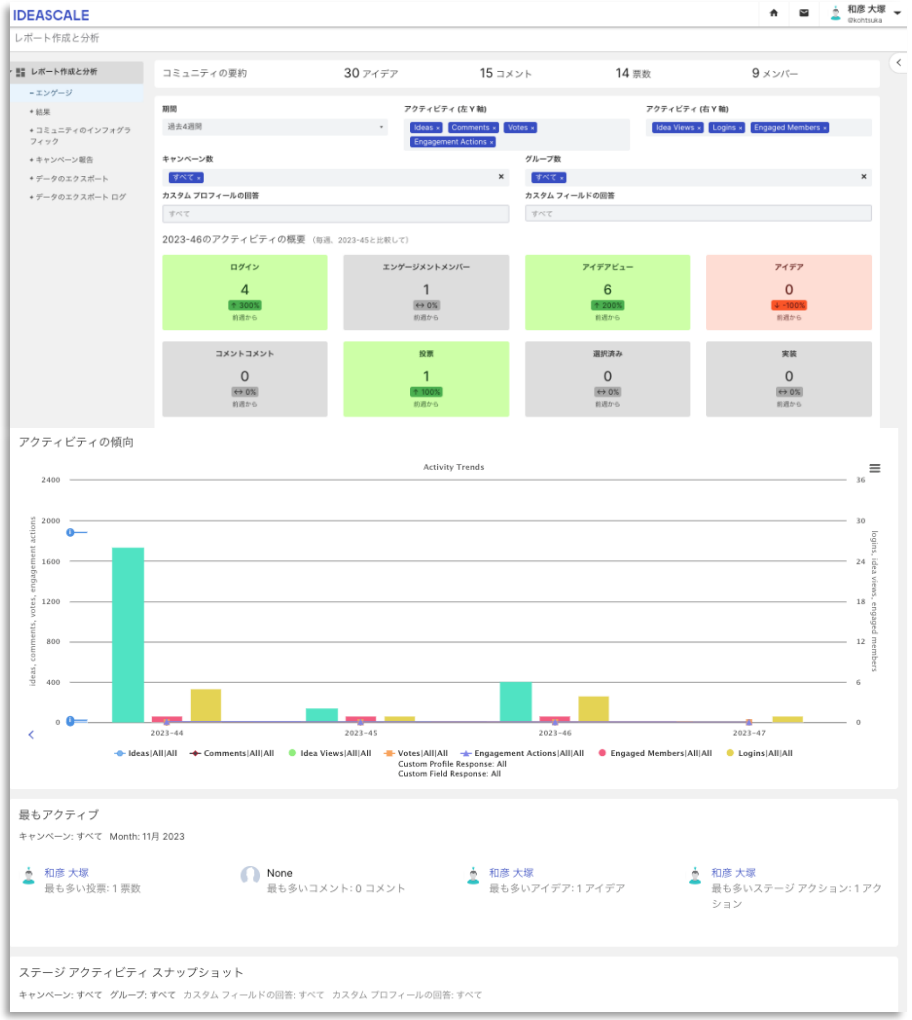
- COSTAR
- リーンビジネスキャンパス
- ビジネスモデルキャンパス
- ジョブ理論
- SWOT分析

の５つのテンプレートが用意されており、独自のチェックポイントや自動化ルールなども設定することで、アイデアの目的や価値を明確（証明）にして承認レビューまで行う事が可能です。

ステージから次のステージに移行するための自動化も可能です。

ISO56002に合わせたワークフローの例
テンプレートをもとにカスタマイズしたもの

イノベーションの状態を見える化する分析レポート機能



IdeaScaleのレポート機能によって、事業、キャンペーンなどに分類し、アイデア数や採用数など、イノベーションの状態を見える化させることができます。

イノベーションの状態を目標設定し、イノベーション組織・文化の現在地を確認しましょう。

ISO56002のイノベーションポートフォリオにも活用

個人能力を組織機能へ

アイデアを出しやすく

素早く意思決定

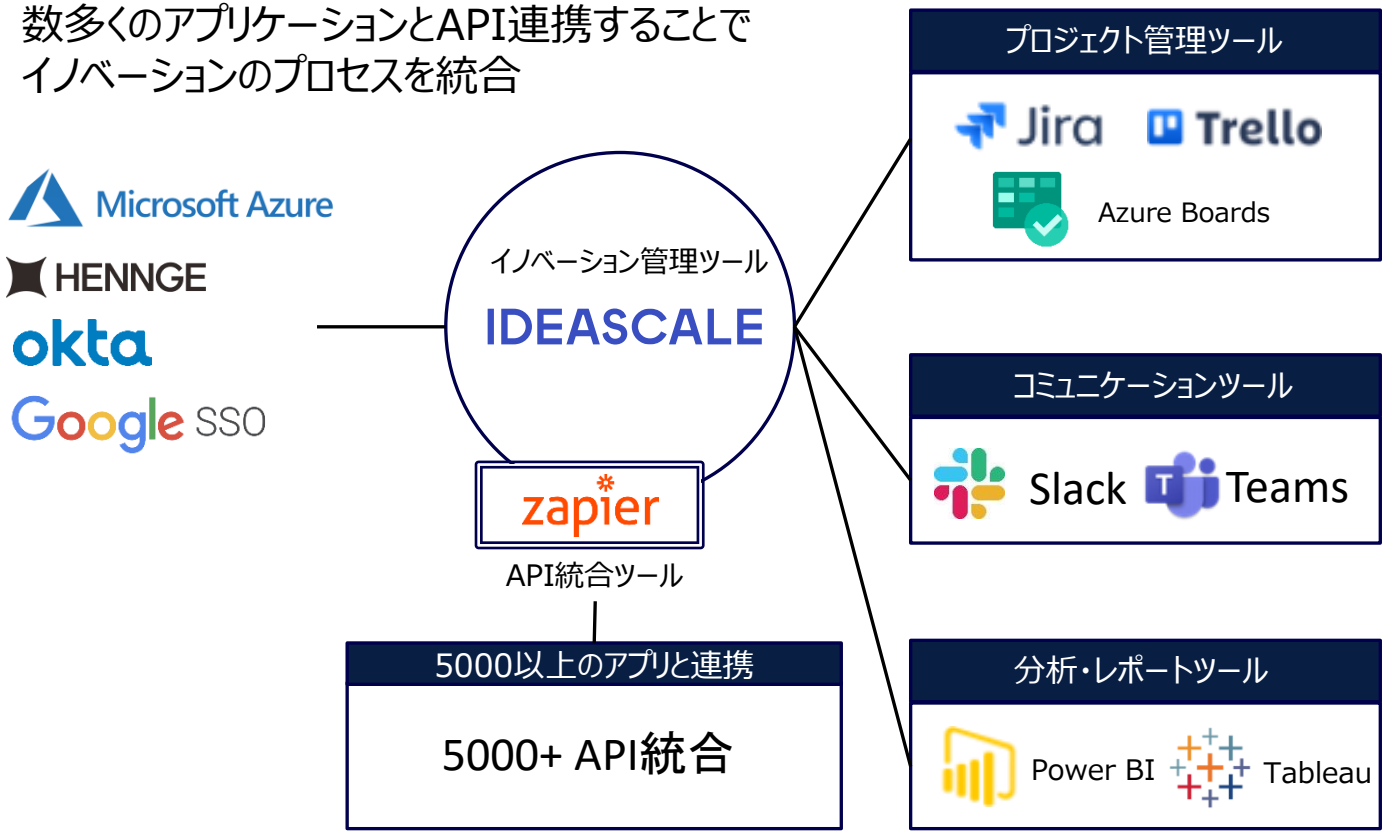
分析レポート

周辺システムとの連携

IDEASCALE

組織に最適な仕組みへ・・API連携によるエコシステム

イノベーションの仕組みにはエコシステムが重要な要素となります。
コミュニケーション、集計分析、アンケート、ナレッジ管理、プロジェクト管理、タスク管理など、イノベーションに関連するプロセスを統合させて、組織に最適なイノベーションの仕組みを構築することができます。



IDEASCALEについて

IDEASCALEが選ばれる理由

AIソリューション

コラボレーション

活用例・事例

サポート

IDEASCALE

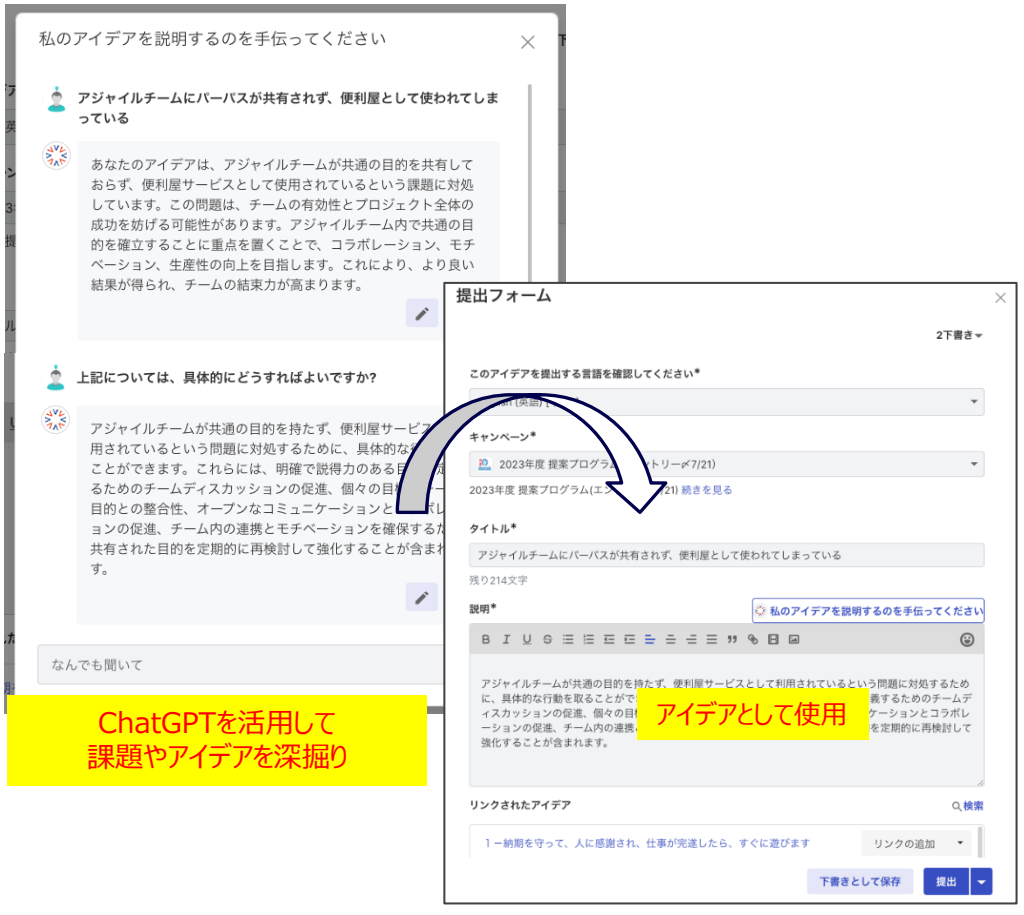
ChatGPT連携やテキストマイニング機能によってアイデアの価値を最大化

TESLA（テスラ）社で採用され、活用されているChatGPT機能。

複数のアイデアから生成AIで新しいアイデアを創出したり、漠然としたアイデアを整理・要約したりなどアイデアの洗練を支援します。

蓄積したアイデアからテキストマイニングで関連性をあるものを抽出し、アイデアのリサイクルを行うことも可能。

匿名アイデア投稿では、文脈で個人特定の不安がある場合、生成AIが文脈を変更することが可能です。

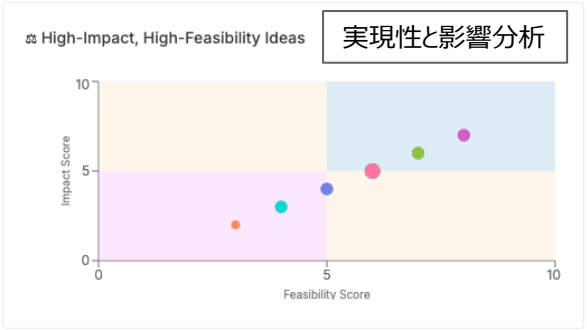


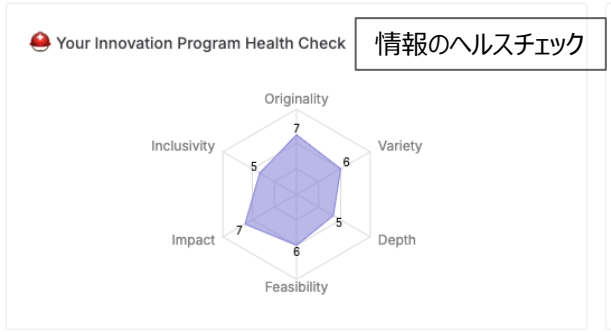
IDEASCALE　ChatGPT

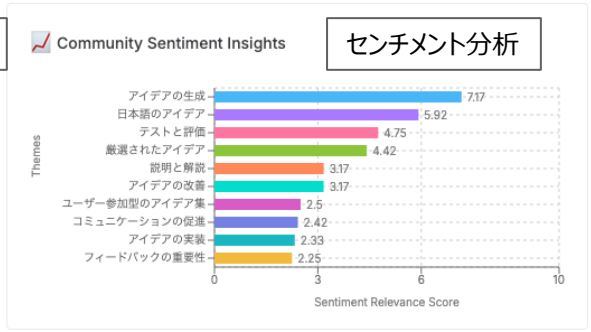
アイデアの生成

アイデアの分析

蓄積したアイデアや情報から　新しいインサイトを得る







トレンド分析

テキストマイニングによって、最も多い語句をビジュアル表示します。
表示された語句をクリックすると対象となる情報が表示されます。

ヘルスチェック

登録された情報に対して、独自性、多様性、深度、実現性、影響、包括性の視点のレーダーチャート表示を行い、バランスを確認できます。

実現性と影響分析

Y軸：実現性、X軸：影響度によって、情報の位置をグラフ化します。もっとも実現性があり、影響度が高いものに高い優先順位をつけると効果的です。

センチメント分析

センチメント（sentiment）とは、ある状況や出来事、意見に対する見方や態度、感情、心情、感想など解析することです。
センチメントは、市場や商品、企業、ブランドなどに対して使われます。

IDEASCALE

IDEASCALEについて

IDEASCALEが選ばれる理由

AIソリューション

コラボレーション

活用例・事例

サポート

IDEASCALE

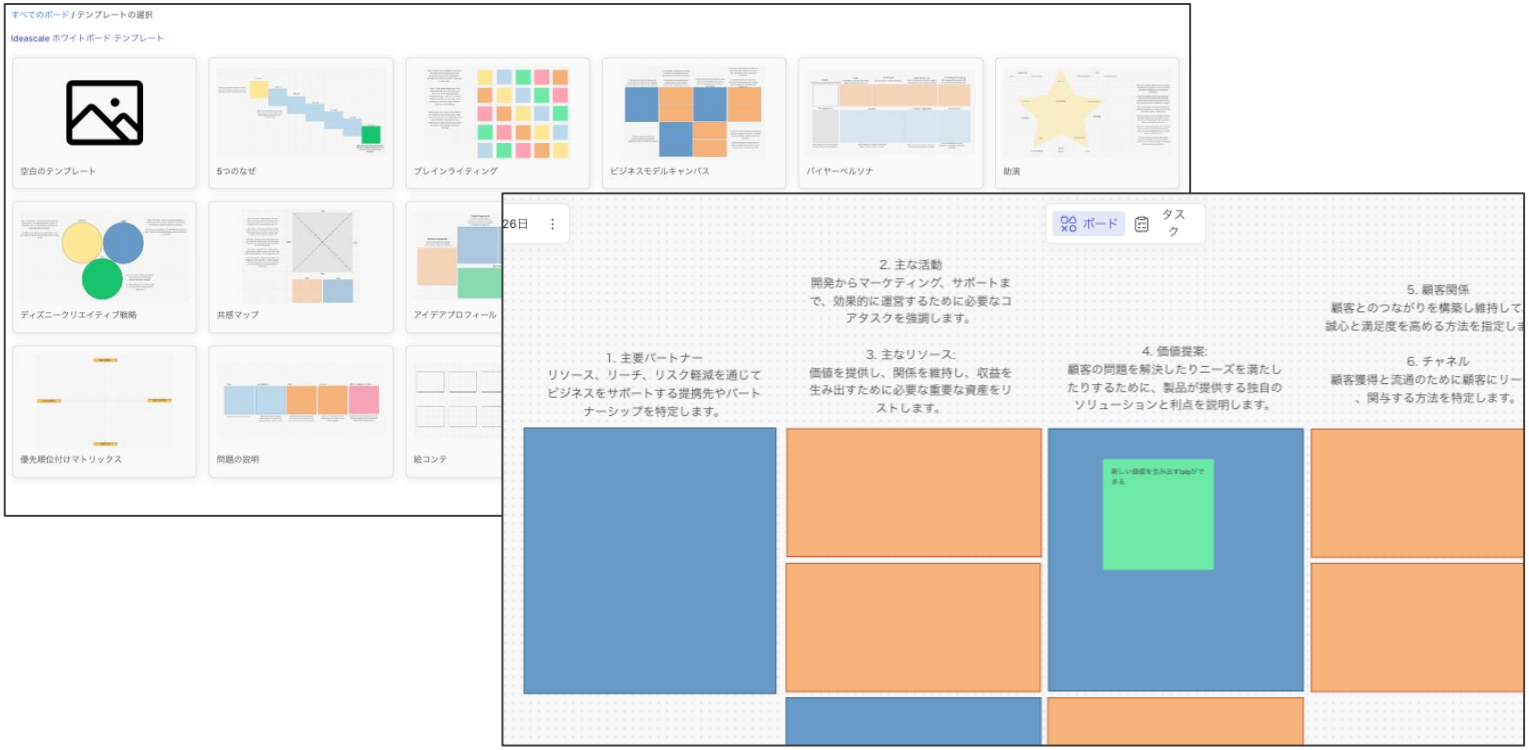
オンライン
ホワイトボード

タスク管理

コラボレーション
ツールとの連携

キャンペーンと連携したオンラインホワイトボードをユーザー無制限で利用

イノベーション、新規事業、改善などのテーマごと、もしくはチームごとにボードを作成して共同コラボレーションによって情報整理、新しい価値の創出を行います。数多くのテンプレートによって、さまざまな用途に活用できます。



オンラインホワイトボード機能はイノベーション管理ツール『IDEASCALE』を利用するすべてのユーザーが利用できます。
IDEASCALEはユーザー無制限のライセンスであるため、チームだけでなく企業全体、関連会社など大規模で定額で利用可能です。

本機能は、現在英語版のみとなっています。
現在、日本語化を準備中です。

IDEASCALE

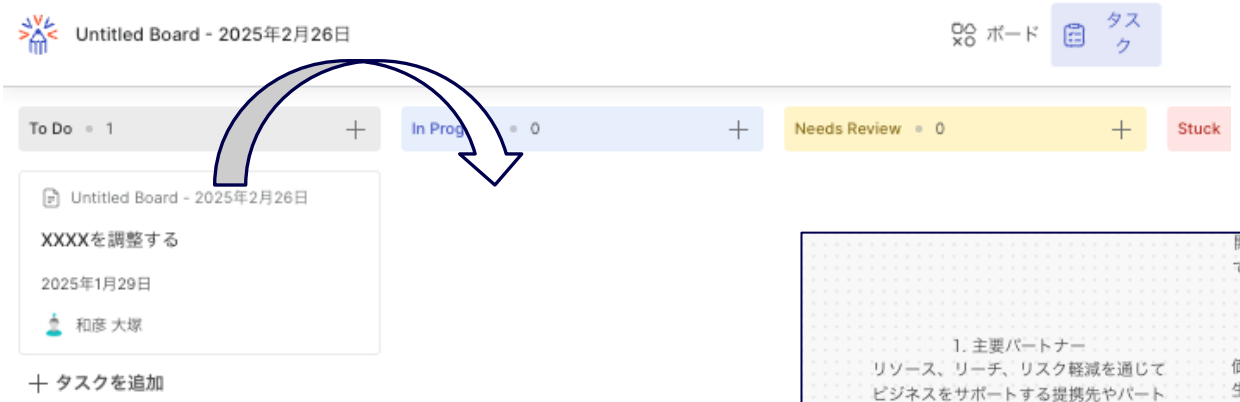
オンライン
ホワイトボード

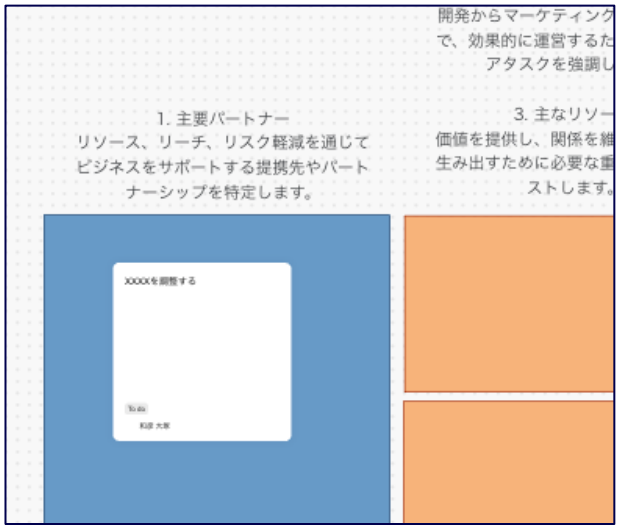
タスク管理

コラボレーション
ツールとの連携

ビジネスフレームワークと連動したタスク管理機能でプラン作成を支援

IdeaScaleはシンプルなカンバン方式のタスク管理機能を提供しています。
タスクは、ボードにも貼り付けすることができます。



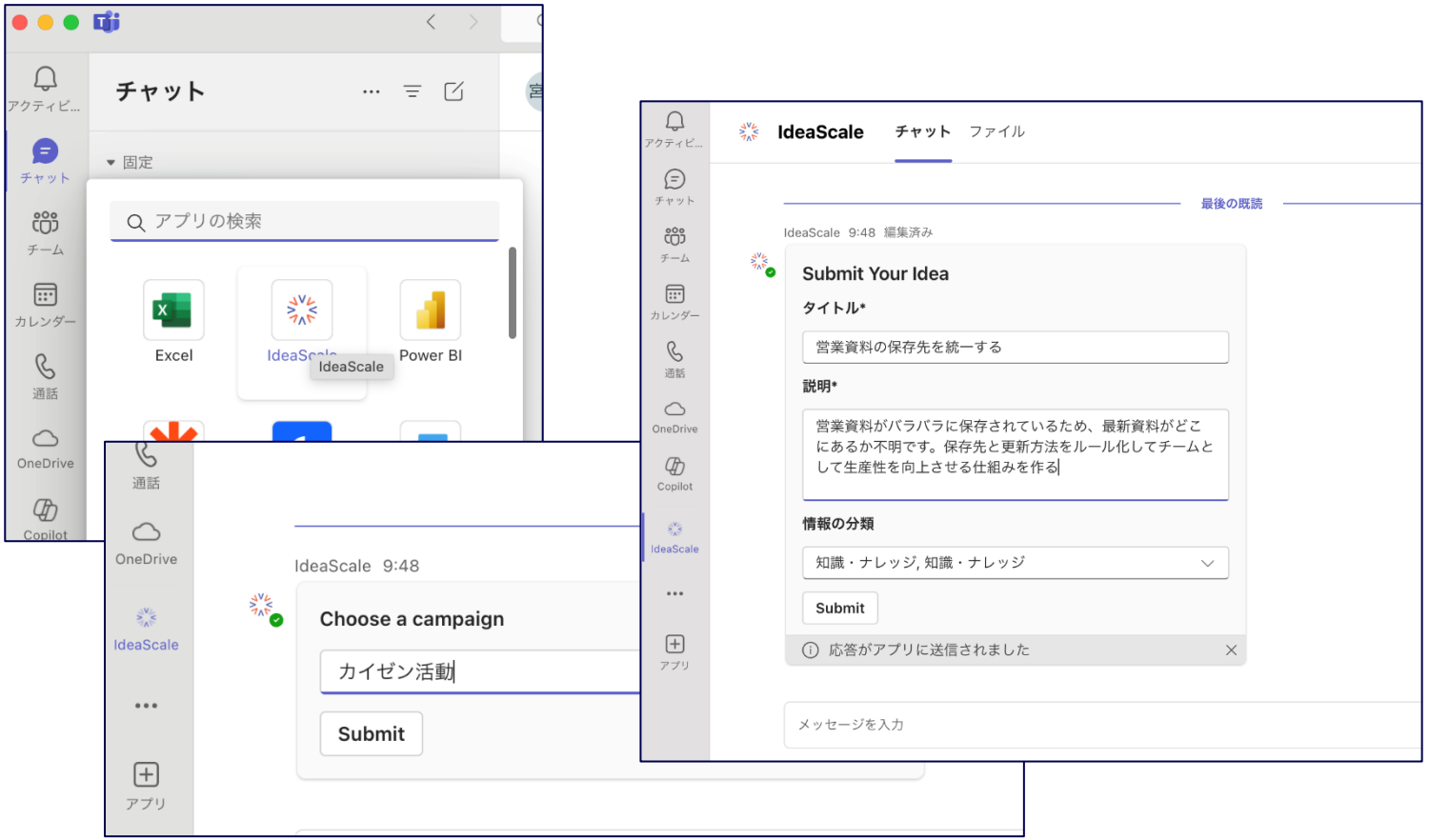


本機能は、現在英語版のみとなっています。
現在、日本語化を準備中です。

IDEASCALE

TeamsやSlackとの連携によるコラボレーション促進

TeamsやSlackのチャンネルでディスカッションしたアイデアや情報を、そのままIdeaScaleに登録することができます。



オンライン
ホワイトボード

タスク管理

コラボレーション
ツールとの連携

IDEASCALE

IDEASCALEについて

IDEASCALEが選ばれる理由

AIソリューション

コラボレーション

活用例・事例

サポート

IDEASCALE

0 → 1

新しい価値を創出する

一般的なイノベーションの仕組み

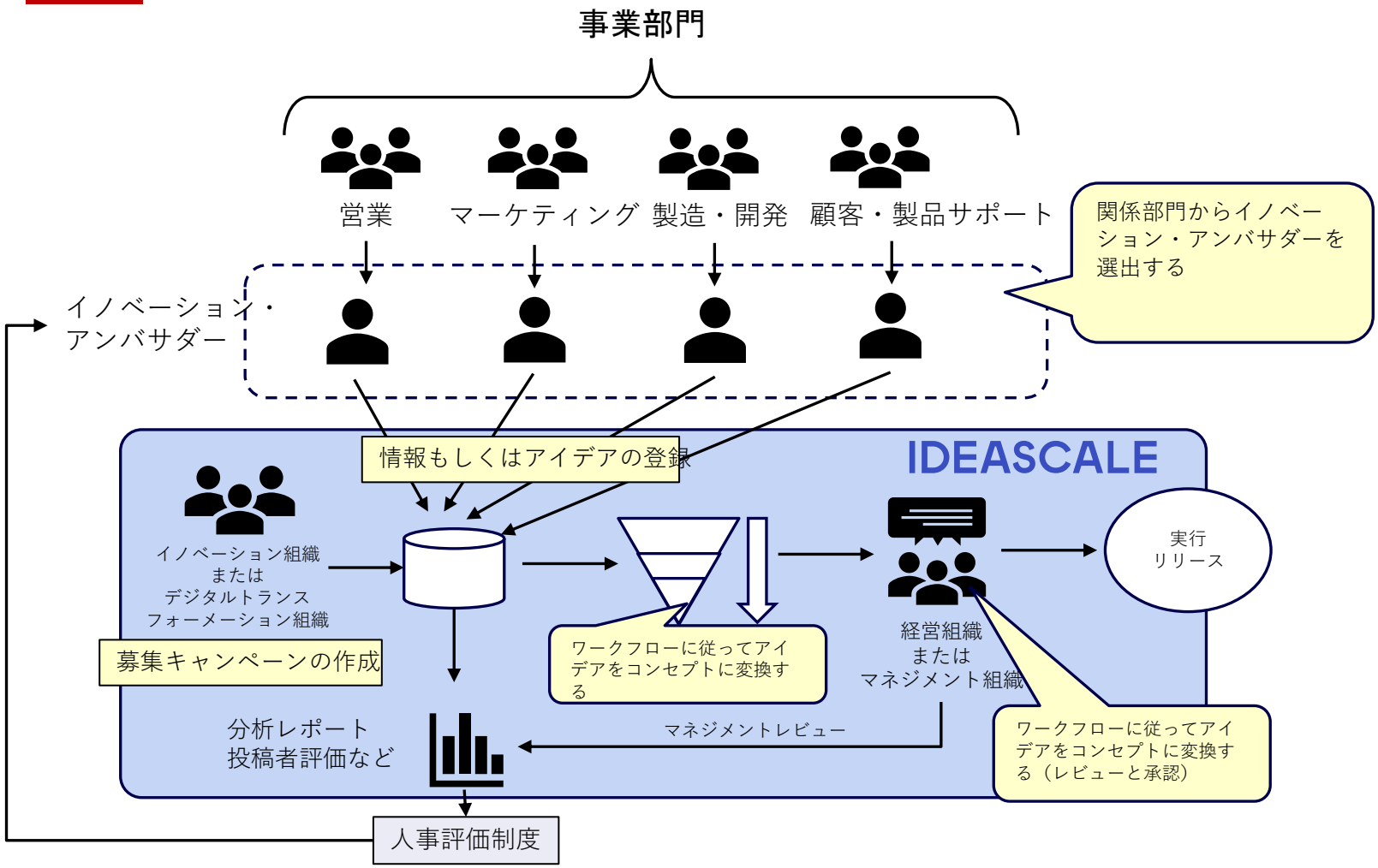
オープン・イノベーションの仕組み

外部支援者とのイノベーションの仕組み

一般的なイノベーションの仕組みをスモールスタート

課題

イノベーションが必要なことは理解しているが、どのように進めてよいかわからない。スタンダードな仕組みでスモールスタートから始めたい



IDEASCALE

0 → 1
新しい価値を創出する

一般的なイノベーションの仕組み

オープン・イノベーションの仕組み

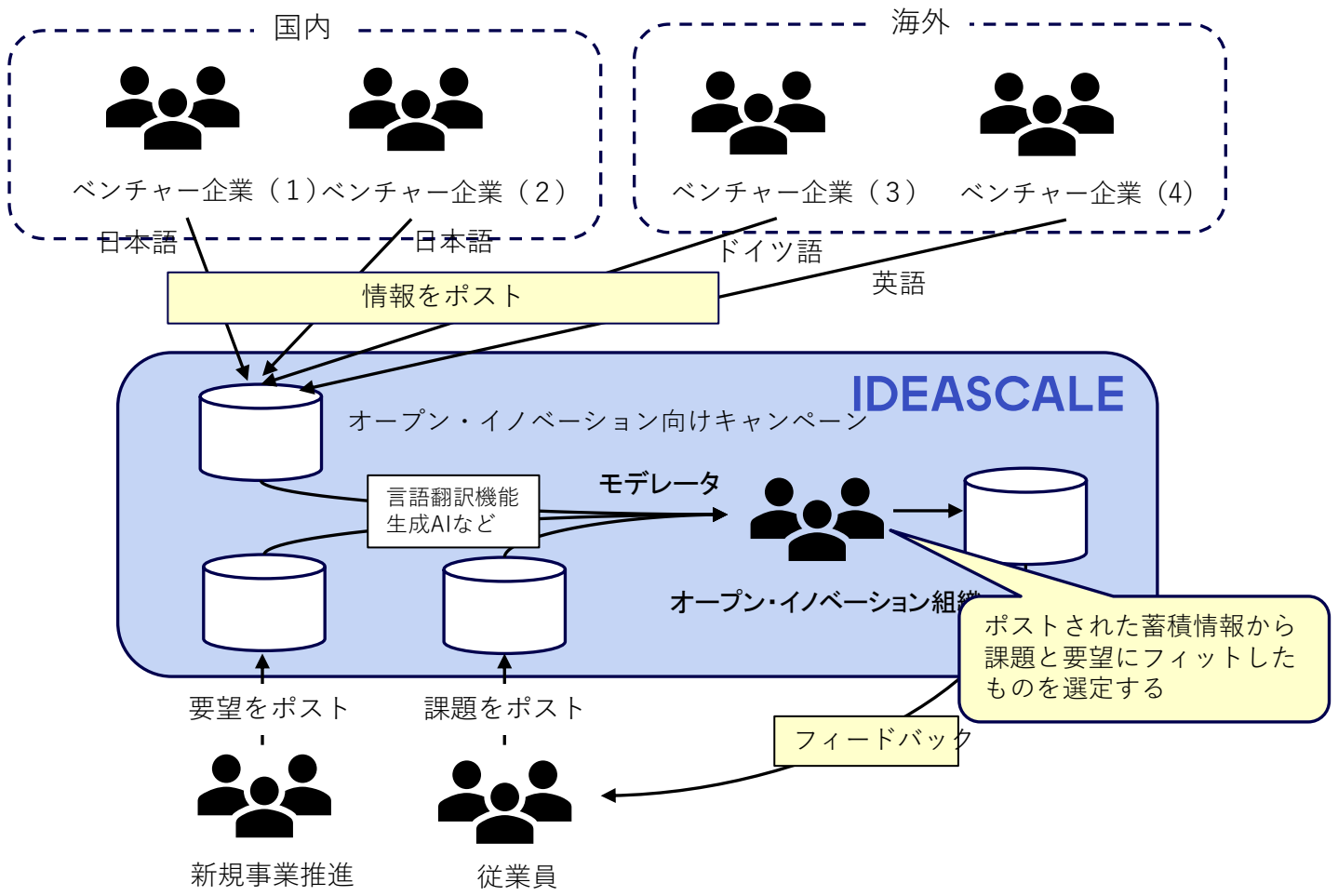
外部支援者とのイノベーションの仕組み

IDEASCALE

オープン・イノベーションとしての活用

課題

国内外のベンチャー企業から会社情報やPR情報をプラットフォームにポストしてもらい、従業員からの要望や課題に対して解決策を保有する企業との橋渡しを行う仕組み
顧客はベンダー選定が効率化できる仕組みにも利用可能



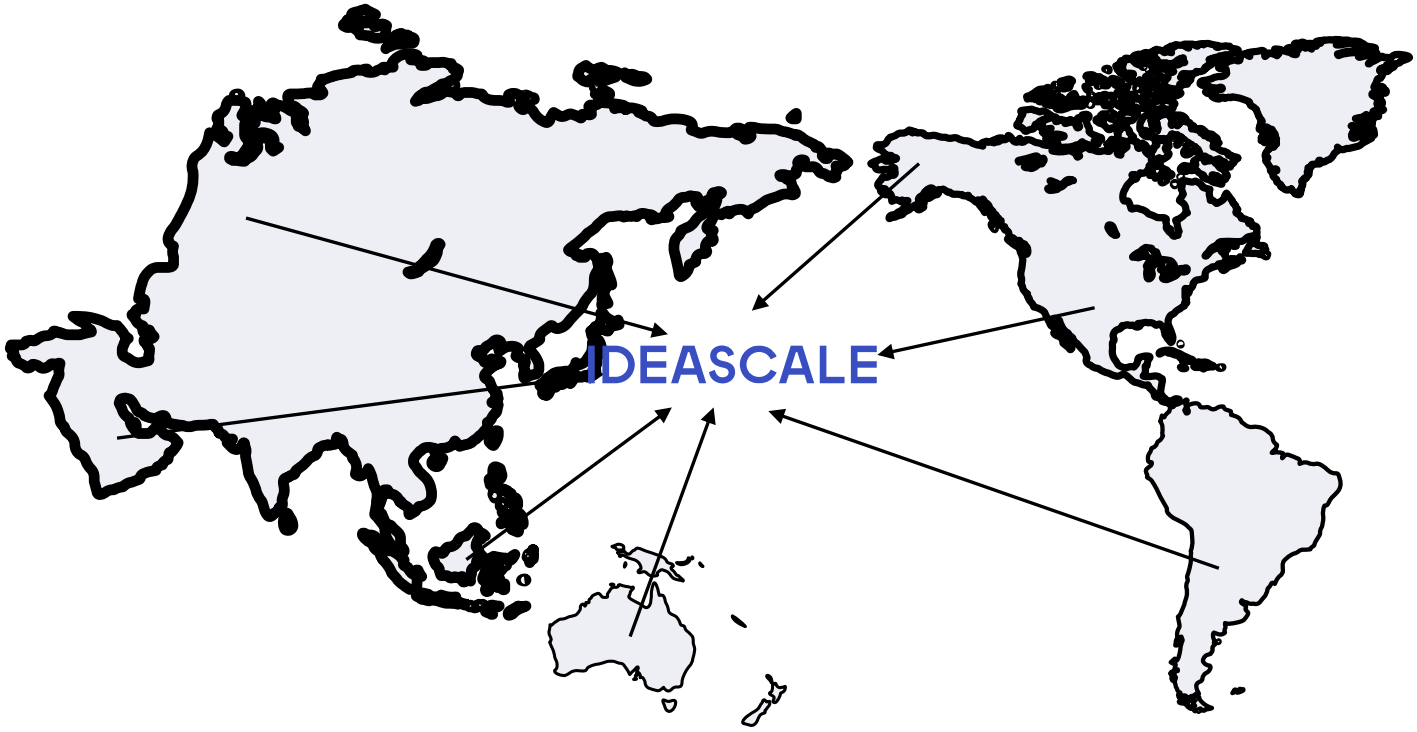
1 → 100
価値を維持・向上する

世界中の顧客の要望事項を集約するイノベーションの仕組み

製品・サービス改善要望の世界共通プラットフォーム

課題

言語の壁があったため、1つのプラットフォームに集約できず、製品・サービス要望の受付システムを活用したトレンド分析ができなかった。



言語翻訳機能により、世界各国と言語を超えた情報共有・コミュニケーションが可能
世界各国からの製品・サービスの改善要望などを１つのプラットフォームに集約できる。
テキストマイニング機能によって最も多い語句を抽出。

IDEASCALE

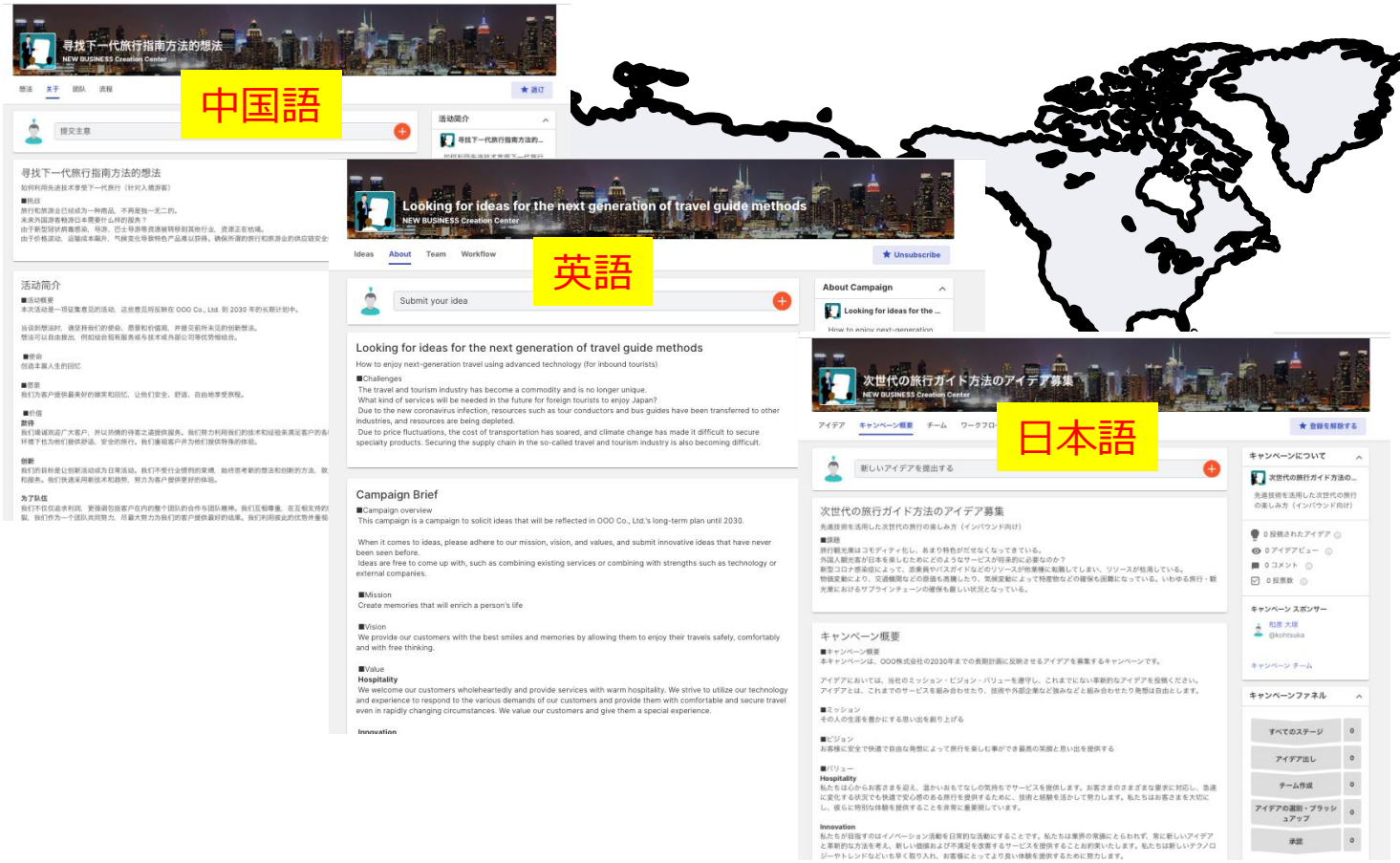
1 → 100
価値を維持・向上する

世界中の顧客の要望事項を集約するイノベーションの仕組み

製品・サービス改善要望の世界共通プラットフォーム

課題

言語の壁があるため１つのプラットフォームに集約できなかった製品・サービス要望の受付システムによって、トレンド分析などができなかった。



世界中の組織と言語を超えたイノベーション活動が実現できる『オープン・イノベーションプラットフォーム』

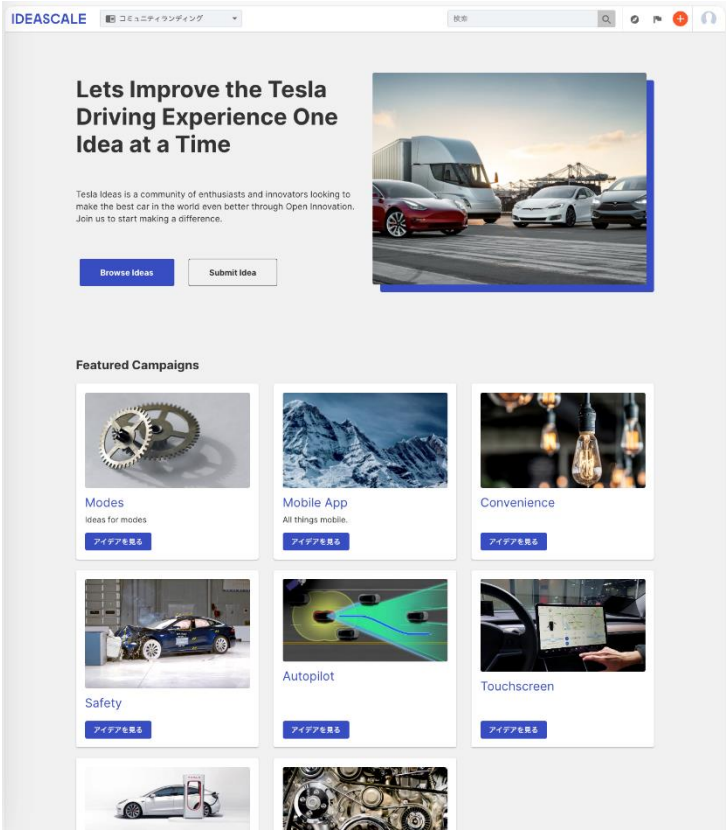
IDEASCALE

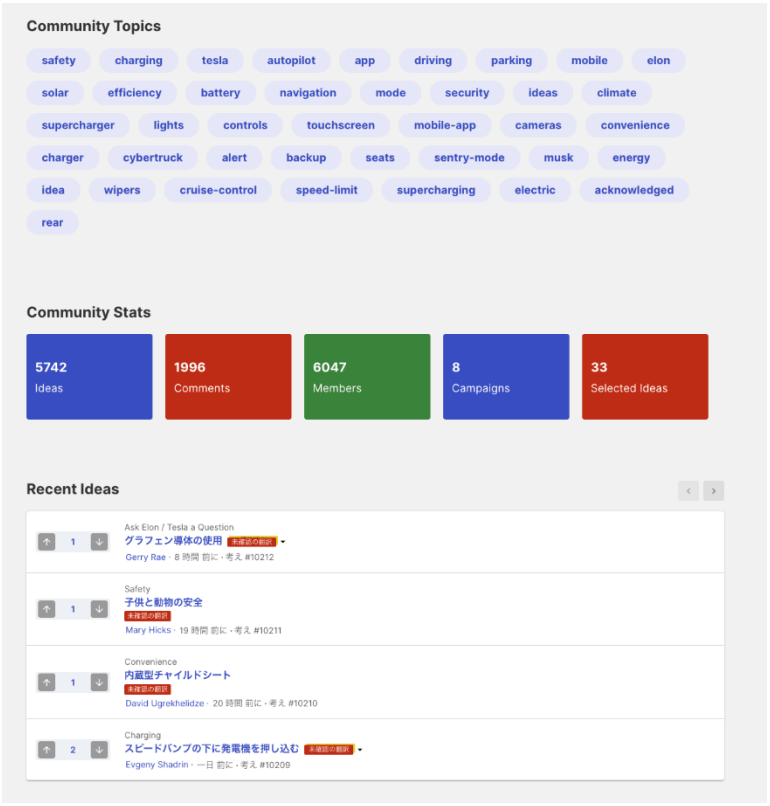
1 → 100
価値を維持・向上する

世界中の顧客の要望事項を集約するイノベーションの仕組み

製品・サービス改善要望の世界共通プラットフォーム

世界中の不特定多数のユーザーから5700以上のアイデアが提出され、現在も増え続けています。テスラを購入したお客さま、これから購入しようとしたお客さま、購入を断念したお客さまなど、多くのお客さまからの声をIdeaScale（アイデアスケール）を通じて収集し、製品開発に役立てています。





https://teslaideas.ideascale.com/c/landing

※上記のページはIdeaScale標準デザインをそのまま利用していますが、デザインはカスタマイズすることが可能です。

IDEASCALE

事例公開

米国連邦政府

EAスポーツ

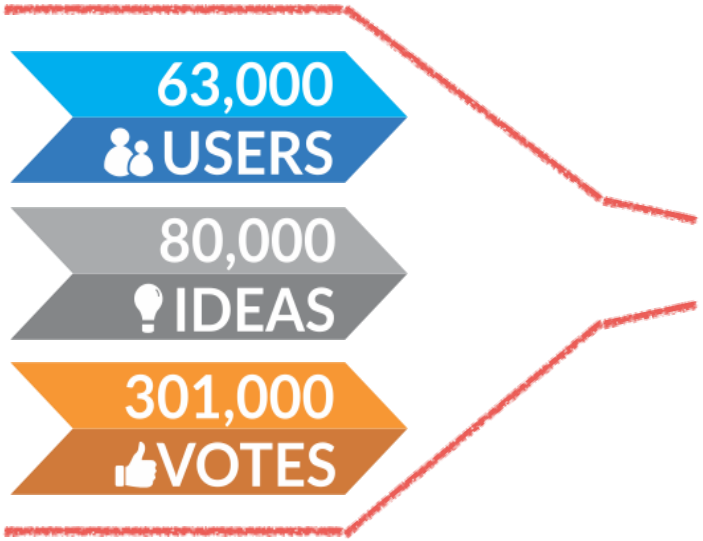
楽天

コーセー

IDEASCALE

事例・活用例
米国連邦政府　経費削減プログラム

- 2009年当時、米国は$1.4Tの負債を計上
- オバマ大統領はクラウドベースで連邦政
- 職員からの意見、アイデアを広く収集
- 政府の無駄を省き、コスト削減実現



2012 winning idea cut travel costs for senior employees by 50%

４年間で、８１万件のアイデアが採用され、数百億円の経費削減が実現。

*“IdeaScale*はホワイトハウスからの大量のデータを効率よく処理してくれました。”

Lena Trudeau, National Academy of Public Administration

事例公開

米国連邦政府

EAスポーツ

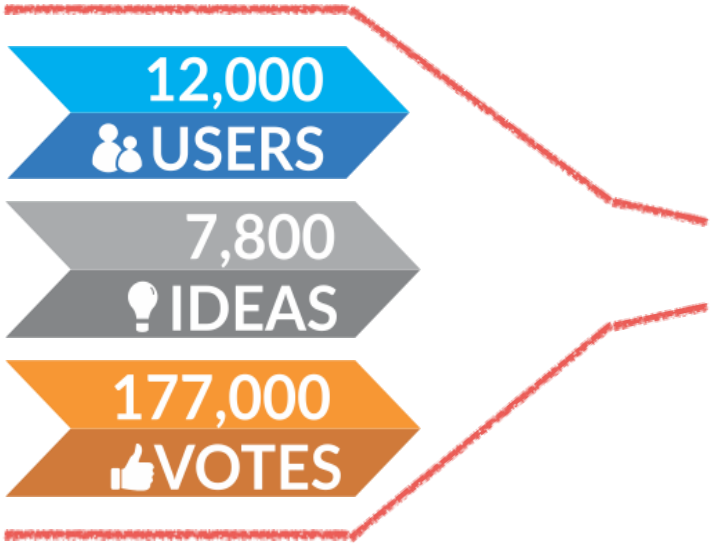
楽天

コーセー

IDEASCALE

事例・活用例
新製品開発

EA社はスポーツビデオゲームの世界で１位企業です。自社で管理するコミュニティ"Game　Changer"を活用して、ユーザの声を取り入れた製品開発を実現しました。



ゲームのスーパーユーザーから、アイデアを出してもらい、素晴らしいスポーツゲームを作り、売り上げを最大限にすることに成功。

*"Ideascale*を採用して、アイデアを顧客から採用。大きな成果を上げることができました。"

Steve Kwan, UX Design, EA Sports

事例公開

米国連邦政府

EAスポーツ

楽天

コーセー

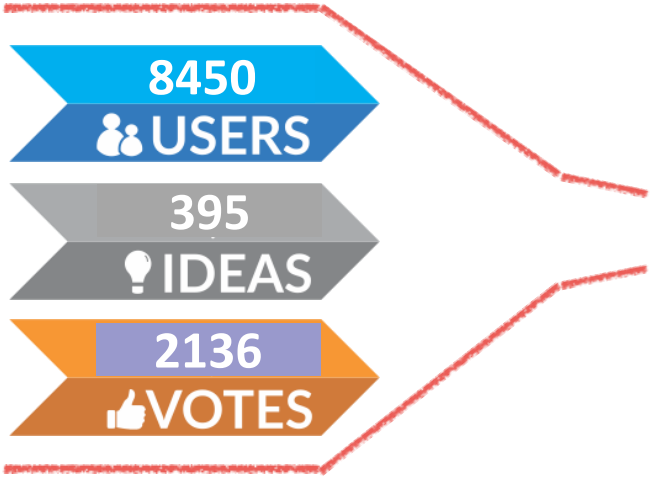
事例・活用例

楽天イノベーション事業プログラム（ボトムアップのイノベーションの仕組み）

Rakuten

- 2016年に60人でスタート、最初の3ヶ月で86個のアイデアを作成
- イノベーションアンバサダープログラムとして、1年半後に人事評価の5%を反映
- 2017年まで新規プロダクト5個サービス開始
- 2016The worlds Most innovative company Rank 17(前年度ランク外からランクイン)

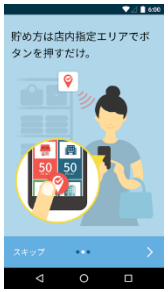
The worlds Most innovative company Rank 17
15% Sales growth through innovation
http://www.forbes.com/innovative-companies/list



そら楽

ラクテンシャ

楽天チェック



ラクパ

楽天VR

IDEASCALE

事例公開

米国連邦政府

EAスポーツ

楽天

コーセー

IDEASCALE

事例・活用例
世界中からのフィードバックを製品開発に活用

株式会社コーセー様

KOSÉ

- 1ヶ月半で960人の参加、600個以上のアイディアを獲得
- 自社プロダクトのフィードバックを現場から得ることで、商品開発に活用
- 世界各地の美容部員ネットワークを活用し、より顧客にマッチした新商品を開発
- 海外拠点からも参加があり、現地の法律事情のコメントをもらう

事例公開

主な海外実績

主な国内実績

主な海外実績

テクノロジー、メディア、エンターテイメント	●お客様のフィードバックから新製品開発
製造	●社員のアイデアを取り入れて製品を改善
教育	●教授・学生・保護者の声を元に キャンパスライフを改善
ヘルスケア	●顧客満足度を向上を実現する 創造的な企業文化を実現
旅行・レジャー	●顧客のフィードバックを元に、コスト削減と満足度向上を同時に実現
監査・金融・保険	●社員のフィードバックからコスト削減
政府 行政機関	●市民と職員の意見を反映した 公平な組織文化を確立

IDEASCALE

事例公開

主な海外実績

主な国内実績

IDEASCALE

主な国内実績

IDEASCALEについて

IDEASCALEが選ばれる理由

AIソリューション

コラボレーション

活用例・事例

サポート

IDEASCALE

私たちのサービス
ご検討にあたり
無料トライアル
サポートサービス

私たちのサービスについて

IdeaScaleジャパン株式会社のサポートサービスは、イノベーション管理ツール『IdeaScale』を基軸に数多くの新規事業開発およびイノベーション、知的創造活動の仕組み化をお客さまの組織に定着させるために多くのサポートを提供しております。

これまでの導入事例から、お客さまの主な要望事項は次のとおりです。

- 現在の新規事業やイノベーションのプロセスをツールによって効率化したい
- 新規事業やイノベーションのやり方がわからないので教えてほしい
- 仮説・検証ができる知的創造活動ができる人材育成と組織を開発したい
- お客さまからのアイデアやフィードバックから、新規事業開発や新しい価値を創出するニーズやアイデアを収集したい
- 新しい価値を創出し、その後も価値を継続・向上できる仕組みを作りたい
- 労働人口が減少するなかで、人的リソースを補完できるように退職者との関係を維持できるような仕組みを作りたい
- アイデアの収集・蓄積・管理により、組織のナレッジとして活用したい
- 日々の業務のなかで「失敗」「成功」の経験を蓄積して、原因・要因を特定する仕組みと経験の再活用（リサイクル）ができるようにしたい

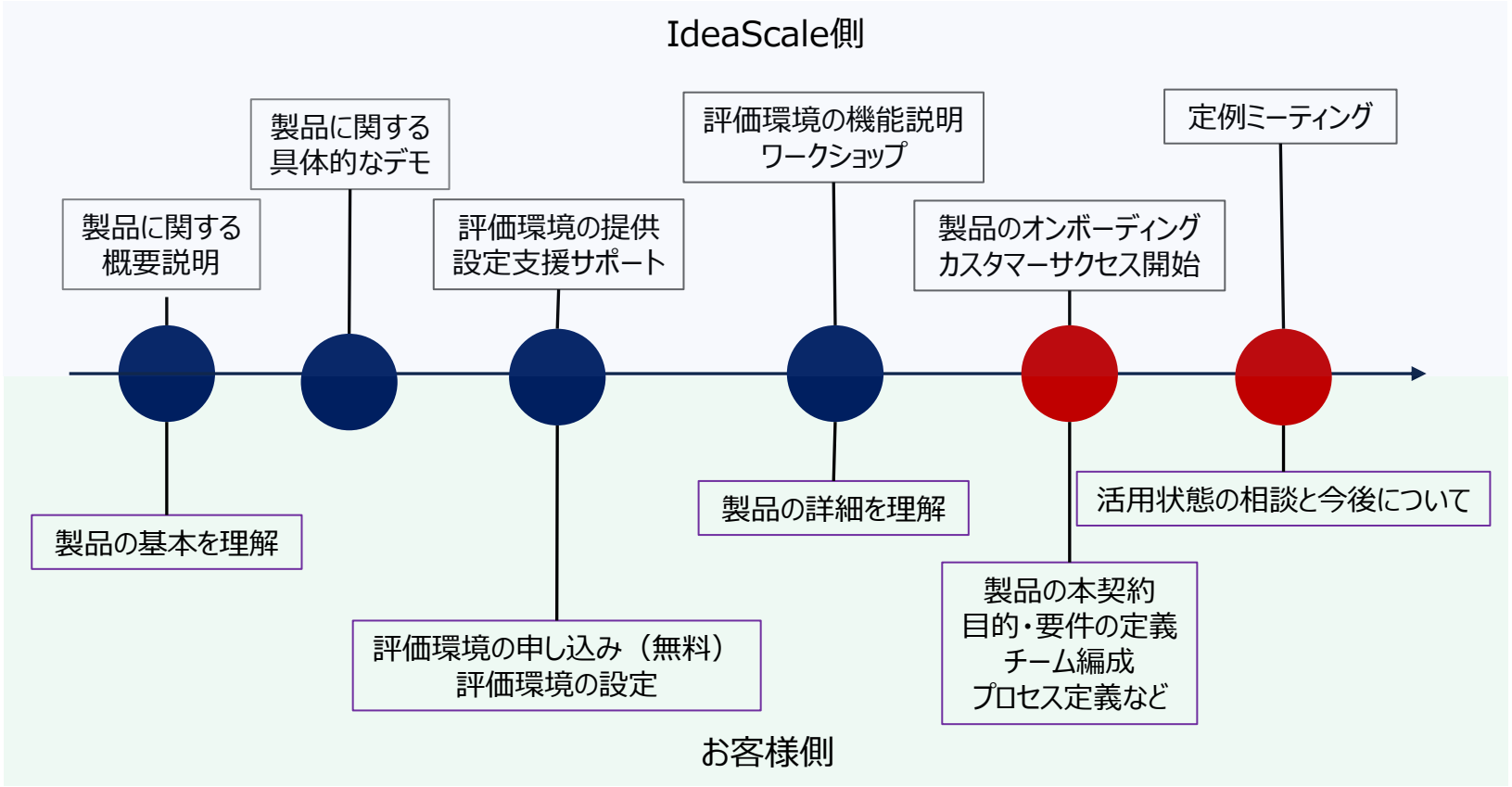
新規事業開発やイノベーションの専門家、経営コンサルタントの活動によって提案される仕組みが、イノベーション管理ツール『IdeaScale』の利用によって仕組み化できます。

私たちのサービス
ご検討にあたり
無料トライアル
サポートサービス

ご検討にあたり

イノベーション管理ツールは、知的創造業務をプロセス化（仕組み化）するプラットフォームです。
ほとんどの場合、個人もしくは特定メンバーの経験や知識を含む力量によって進められてきたプロセスを
仕組み化することで誰でもイノベーション活動をすすめることが可能になります。

一般的な検討から導入プロセス



無料トライアルの申し込み

私たちのサービス

ご検討にあたり

無料トライアル

サポートサービス

ホームページから無料評価を申し込み

https://ideascale.co.jp/

カスタマーサクセス担当へ連絡して申し込み

以下のメールアドレスに連絡をしてください。

メール：contact@ideascale.co.jp

原則は、英語環境のみの評価環境ですが、上記の方法から申し込みすると日本語環境で作成されます。
評価期間は30日間となります。

お気軽にお申し込みください。

毎月開催：IdeaScaleユーザーと著名なイノベーターたちとの交流会

IdeaScaleジャパン株式会社は、イノベーション管理ツール『IdeaScale』の契約ユーザーに対して、スタートアップ企業の創業者、大手企業で新規事業やイノベーションを担う、役員クラスの有名人・著名人などから経験・知識を学ぶイベントを毎月開催しています。（以下、2024年4月開催時のイベント）

イベント開催報告｜2024年4月17日
IDEASCALEユーザー×イノベーター交流会

2024年4月18日 2024年4月19日 OhtsukaKazuhiko ブログ

毎月開催されるイノベーション管理ツール『IdeaScale』の導入ユーザーと様々な業界で活躍するイノベーターの方々との交流会が2024年4月17日に開催されました。

https://ideascale.co.jp/blog/event-report-2024-04-17/

テーマ：生成AIとロボット

（講演者）
大阪音楽大学音楽学部ミュージックビジネス専攻助教
慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究所リサーチャー
ロボットパートナー
博士（メディアデザイン学）
太田 智美 様

（講演者）
博報堂ＤＹホールディングス
執行役員 Chief AI Officer、Human-Centered AI Institute代表
森 正弥 様

（講演者）
ユカイ工学株式会社
Yukai Engineering Inc.
CEO
青木 俊介 様

日常的にイノベーションを起こす社会へ変革

IDEASCALE

IDEASCALE